

# 広報ひがしの

No172

令和3年

2021.4.1

人口1666人

(男)838人

(女)828人

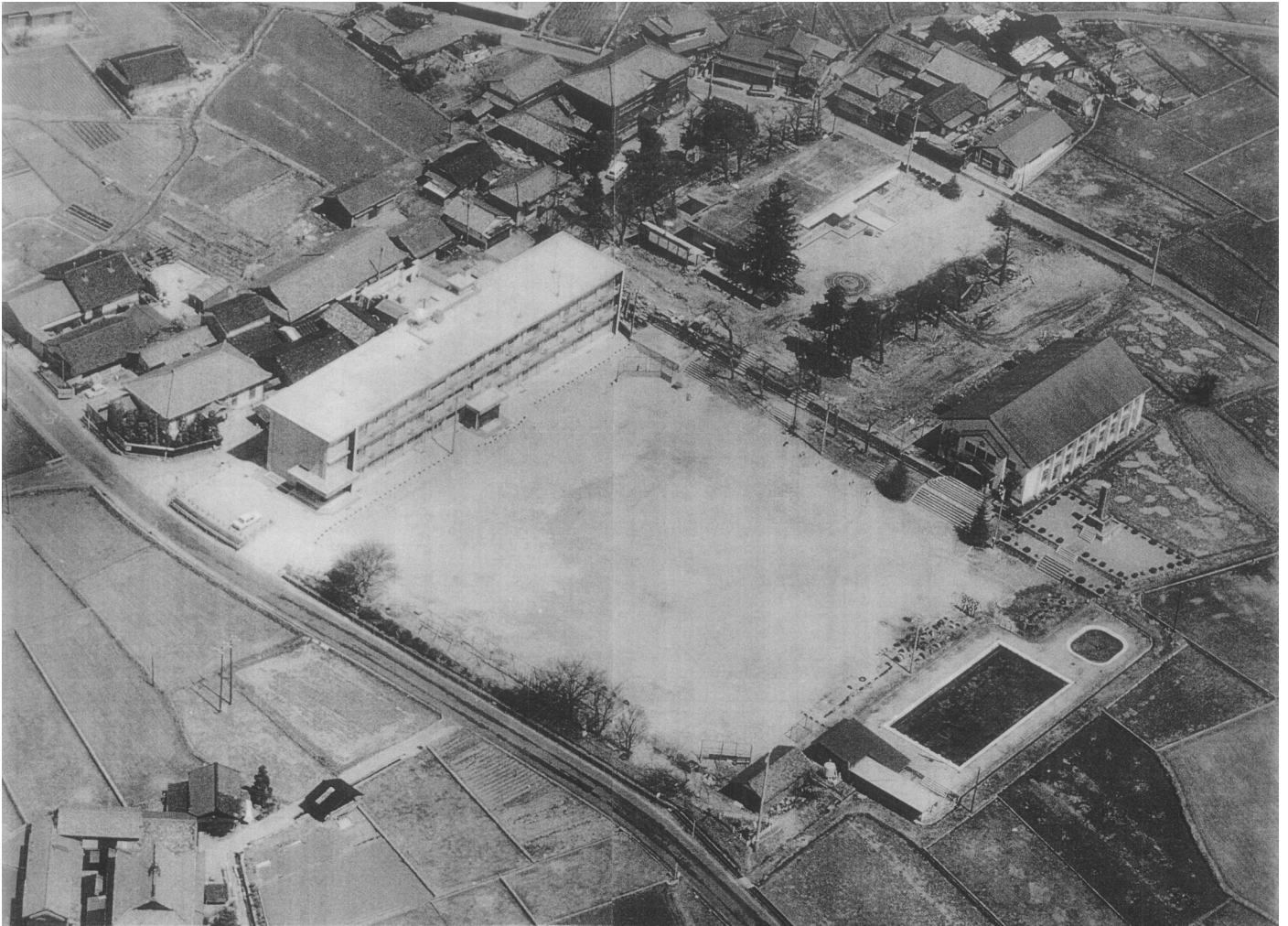
世帯数

631世帯

(R3.3.1現在)

## ふるさと 東野

ちょっと昔の小学校周辺



### 懐かしい東野の風景

コミセン・振興事務所の事務室に飾ってある航空写真です。現在の小学校の起工式が行われたのが昭和51年、竣工式が昭和52年、新公民館の着工が昭和52年です。この写真は、まだ旧公民館が写っています。そのため、撮影は昭和51年～昭和52年頃のようにです。

小学校・旧公民館・旧農協・診療所・消防庫・駐在所・警察官舎・市役所東野事務所・講堂が分かります。

小学校周辺の風景も今と異なり、圃場整備以前の田圃も懐かしく感じます。40数年前の風景なので、ご記憶の方も多くいらっしゃると思います。

体育館が建つのは、この写真の5年後の昭和57年のことです。

ご家族でこの写真を見ながら、家族の話題にして頂けたら幸いです。



## 地域の話題

昔遊び2題

### 大空に舞う凧

1月19日(火)

小学校の1年生8名が自分で絵を描き、丸山文憲さんが組み立ててくださった凧が大空に舞いました。

凧揚げの経験の少ない児童は、落ちた凧を引きずって走ったり風下に向かい走り、ストンと落ちてしまったりと、悪戦苦闘の連続でした。操縦に慣れてきた児童の凧が大空に上がり始めました。最後には、校舎の高さを超え、悠々と飛ぶ凧もありました。この凧は高く舞いましたが、最後に落ちてしまい、木の枝にひかかってしまいました。高く揚がり誇らしげな顔の児童、落ちてしまい悲しげな顔の児童。悲喜こもごもな時間でした。



風が不規則に吹くグラウンドでしたが、寒さに負けず駆け抜ける児童は、正に『風の子』でした。

### 竹トンボ飛ばし

1月22日(金)

1年生が昔遊びの授業の一環として竹トンボ飛ばしを行いました。

竹トンボ飛ばしをしたことのない児童もいて、うまく飛ばすことが出来ないことも予想されたため、教室で竹ひごをこすり合わせ、飛ばす練習をしました。

リハーサルを行い体育館に集合。事故を防ぐため、間隔を取って一列になり、端の子どもから順番に飛ばし始めました。練習のようにひごをこすっているはずなのに思ったようには飛び上がリません。それでも何度か繰り返し返しているうちにきれいに上昇する竹トンボも現れてきました。思ったように飛び、「上がった！」に飛び、「上がった！」と歓声を上げる子どもたちでした。短い時間でしたが、教科書では得られない貴重な体験が出来た時間でした。



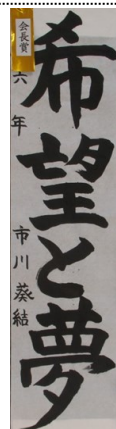
子どもたちは大切なことを学んだに違いありません。

### 東野ふるさと作品展(書き初め展)

1月15日(金)から22日(金)までで開催しました。今回は、感染症防止のためコミセンで一番広い大会議室で行いました。三々五々いらつしやつた来館者からは、「上手だね。」「力強い文字が多い。」「どの学年も落ち着いて書いて書いている。」「等々のお褒めの言葉をいただきました。作品を背景に記念撮影する親子や「来年は金賞を目指そうね」と話すお母さん等、微笑ましい光景が見られました。



会長から表彰される市川葵結さん



参観いただいた皆様、ありがとうございました。

青少年育成会議会長賞 市川葵結さん

### 受賞された皆さん(敬称略)

- 東野青少年育成会議会長賞 市川葵結(6年)
- 金賞 伊藤誠真(1年) 小松原達斗・小松原千奈(2年)  
伊藤 鈴(3年) 足立紗来(4年) 中根美和(5年)  
市川花暖(中1)
- 銀賞 河野颯真(1年) 西尾康成・若尾采楓(2年)  
小林和佳奈(3年) 篠原陽雅(4年) 五月女瑞季(5年)  
長谷川奈那(5年) 岡田紗菜(6年) 水野紗菜(中1)  
伊藤温真(中1)
- 銅賞 深津 猛・光岡光莉(1年) 有我颯羽(3年)  
渡辺紗季(3年) 秋山賛芽・水野佐希穂(4年)  
伊藤晴稀・渡辺 蒔(5年) 千藤和亜(6年)



## 地域の話題

こども園に消防車がやってきた 2月8日(月)

恵那市では、消防ポンプ自動車2台を更新し、東野分団と明智分団に配備しました。東野分団のポンプ車は24年ぶりに更新されました。

新車の更新を記念し、こども園の園児にポンプ車

のお披露目をしました。消防車に乗れることを心待ちしていた園児は朝からワクワクソワソワ。到着するポンプ車に向かい大歓声。

赤色灯を点灯させ、サイレンを鳴らすとその音の大きさや迫力にビックリ。全員がピカピカの最新車に乗せてもらったりホースを持たせてもらったりし、気分はすっかり消防士。

仕事を休み、ご来園してくださった消防団員の皆様、ありがとうございました。



## ほたる祭りでおおうね

昨夜からの雪が残る2月18日に小学校2年生が定蓮寺川でホタルとカワニナの放流をしました。

最初に教室でもぞもど動

くホタルの幼虫やエサとなるカワニナを観察しました。その後、プリントを使いホタルの種類や生息できる場所、エサ等について勉強をしました。

動く幼虫を見て、「気持ち悪い」と叫ぶ児童や「コロナしていて可愛い」と話す児童など教室内は大騒ぎ。

教室でホタルの学習後、宗久寺前の定蓮寺川まで移動。川岸に降り、グループに分かれ放流を始めました。バケツに入ったカワニナとホタルの幼虫を川に入れました。どのグループも、全員が放流できるよう上手に交代して行いました。中には、「大きくなってね。」と語りかける児童もいました。



大きくなってね

「初めて本物のほたるの幼虫を見た」「上手に川に入れることが出来て良かった」等の感想を聞くことが出来ました。ホタルが飛び交い、無事ほたる祭りが出来ることを期待して帰路に就きました。



カワニナとホタルの観察

## みどり組の園児が保護者を招き親子お茶会

雪の舞う2月17日、保護者をコミセンにお招きし、親子お茶会が催されました。子どもたちは保護者を前に背筋をシャキンと伸ばし、お点前(おてまえ)を披露しました。

春の頃は所作や立ち居振る舞いに戸惑っていた園児でした。しかし、今年の冬は、堂々とした所作で、「お先に頂きます。」「どうぞ」とあいさつしてお菓子を食べたりお茶を頂いたりできるまでに成長していました。



お点前披露の後は、保護者を招き、お茶を振る舞いました。お父さんやお母さんのために華麗に茶せんを使い、一生懸命お茶を点(た)て、お父さんやお母さんの席まで運び、「どうぞ。」とお茶を勧めました。

我が子の堂々とした姿に圧倒され、

「どうし

たらいい?」と周りを見渡す姿がありました。

お茶会に参加した保護者は我が子の確かな成長を確認し、卒園後の姿に思いを馳せたことでしょう。





## 「資源回収処 東野デポ」オープン

3月16日に、東野コミセン駐車場内に、新聞紙・雑紙・ダンボール・雑がみ・アルミ缶を365日24時間いつでも持ち込むことが出来る常設の資源回収拠点「資源回収処 東野デポ」がオープンし、開所式が行われました。



開所式には、関係者の皆様のほかに、東野小学校5年生の川口朔さん、加藤瑠馬さん、西尾大知さんにも参加して頂き、初めての資源投入をしていただきました。

この資源回収拠点は、恵那市が設置し、運営は東野開発振興会が行います。集まった資源は東栄製紙工業株式会社様に買い取っていただき、その売却益がこの東野地域に還元されることになります。つまり集めれば集めるほど東野地域が潤うことになります。

家庭から出されるごみの中には、資源となる「雑がみ」が多く含まれています。実はこの「雑がみ」に対する1キログラム当たりの奨励金が他の資源より高いのです。ぜひこの「雑がみ」を分別して、地域の資源として出していただきたいと思います。ごみの減量にもつながりますので皆様のご協力をお願いします。皆様ルールを守って多くの資源を持ち込んでいただきますようしくお願いします。

利用にあたって特に注意していただきたいこと

- ・紙ひもでしばって出す
- ・送り状・粘着テープ・金具・ビニール等を取り除いて出す
- ・アルミ缶は中身を水洗いしてつぶさずに出す
- ・ステーションに入れるときは整頓して入れる

## 思い出を振り返ることができます！

### 過去のコミセンだよりが見られます！

昭和54年の『館報ひがしの』には「建設のすすむ国民宿舎」という記事が掲載されています。また昭和58年10月号には「阿木川ダム2号橋（阿木川大橋）」の工事の様子が紹介されています。昭和58年の19号では、小学校の朝ランニングの様子を、【たいやきくんのリズムについて】という時代を反映した見出しで紹介しています。当時の6年生は現在50才です。

コミセンでは昨年度、過去の館報・公民館だよりをホームページに掲載しました。公民館だよりは昭和54年の第15号から令和3年の第171号まで紹介しています。運動会や夏祭り、小学校の行事等、懐かしい出来事がたくさん掲載されています。ぜひホームページをご覧ください。



【ホームページの探し方】Yahoo JAPANなどの検索サイトで **東野振興事務所** と入力し、以下の手順で探してください。【ようこそ恵那市へ/恵那市公式ウェブ→施設一覧→公式施設のご案内→コミュニティーセンター（公民館）→広報ひがしの】ここから見たい広報を選択してください。

## 高齢者叙勲 おめでとうございます

下染戸自治会の永野稔昌さんが、12月1日付、高齢者叙勲で瑞宝双光章を受章されました。

永野さんは、元県農政部長として水産部門で活躍され、地方自治功労者として叙勲されました。

## 文芸

花無山句会 令和3年2月18日

東野コミュニティーセンター

立春や老いの施設で茶筌振る  
市川 芳子

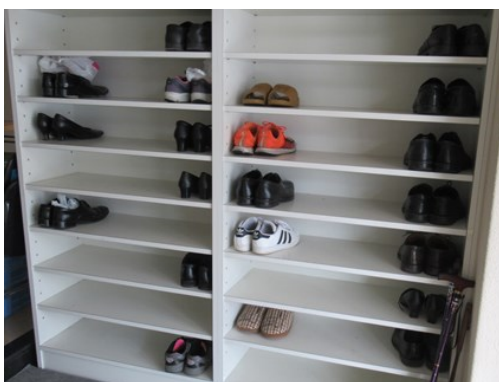
重ね着で動きのにぶき媼かな  
内木伊津子

こもり居る古き住居のすき間風  
千藤猛司

味噌搗くや今年はかなり大雑把  
千藤恵三

## お見事！

1月にコミセンで開催されたある団体の皆さんの下駄箱の様子です。いつも施設をきれいにご使用下さってありがとうございます。



## 地域を知る・東野を知る

咳岩神 場所 万場広田神社前・公文橋下

信仰の石。咳岩神岩、せきわ様とも云われています。昔、東野では、貧しい家が多く、病気になっても医者にかかれませんでした。風邪をひいたぐらいでは、医者にかかれませんでした。風邪が治らないときは、この咳岩神様にお参りするとよく治ると伝わり、お参りする人が多くいました。お参り後、咳が治ったり熱がひいたりしたらこの岩の上に土で作った団子を二個重ねて供えたという話も伝わっています。

この岩には大地の男神が降臨された時の足跡といわれる模様が付いているため、足跡石とも呼ばれています。元々田んぼの中にありましたが、圃場整備により現在の位置に置き換えられました。



公文橋下の咳岩神

公文橋下にも咳岩神がいます。基ありますが、土橋の公文橋をかさ上げし、現在のものに付け替える際、少し南の現在の場所に移し替えられました。一度現地を訪れてはいかがでしょうか？



飯沼川の咳岩神

## 花無山の西行歌碑

むかしむかし、西行という和尚さんがいました。この和尚さんは元々武士だったが高貴な女性に失恋して、世の無常を感じお坊さんになった人です。30歳の時、高野山に入り修行をしたり、諸国を回り歌を詠み歩いたりし、やがて歌人として世に知られるようになりました。西行法師として親しまれるようになりました。63歳の時、伊勢の二見浦に安住したいと願い住んでいましたが、69歳のとき東大寺再建の資金集めのために奥州平泉まで行くことになりました。帰り

道、信濃から美濃に入り大井に来て7日間滞在しました。旅を続けるため、大井を発ち中野坂にさしかかったときに、東南の空に阿弥陀如来の御姿を見ました。西行法師



西行歌碑と青年団（大正）

はたいへん感激し、草をかき分けてその方へ進みました。そこには小山ときれいな溪流がありました。阿弥陀様に導かれたどおり着いた場所にしばらく留まることにし、庵を建て、竹林庵と名付け住んだそうです。



伝竹林庵跡

竹林庵の東方にきれいな山があったため行ってみましたが、花は全く無かったのが花無山の謂われです。西行さんは小山に阿弥陀堂を建てて、竹林庵に3年も住みました。春になり東方の山に登ってみると、つつじがきれいに咲いていました。初夏になるとサワラ、ウメバチソウ、サワギキョウなどの可憐な花がたくさん咲いています。西行法師はこれを見るのを楽しみしていました。そんなくらしの中で、正月も過ぎた頃、次のよう歌を一首詠みました。

花無の 峰に栖(す)みける 鶯の

己れと鳴きて 春を知るらん

意味⇓冬には花の無い山でも、ウグイスの声できれいな花の咲く春を知ることができる。西行さんはこの山を非常に愛していたそうです。

大正2年、東野青年団が西行さんをしのんで、花無山から里（東野）がよく見える峰にこの歌を歌碑にして建てたそうです。



花無山山頂の西行歌碑

## もう一つの昔話

花無山には、根津甚平（ねづじんべえ）が八重羽の雉を追って大井まで来たが、甚平は力尽きて倒れてしまい、雉は花無山に入って姿を消しました。

甚平は悔しさのあまり、あの山には花を咲かせないといって死んでしまいました。それ以来、花無山という名がついたという大井の昔話もあります。



# 前期市民講座の受付が始まります！

令和3年度の前期市民講座では、人気の講座に加え、新しい講師による講座も始まります。また、参加したいけど、講座のすべてには参加できないという声にお応えし、1回だけの講座もさらに増加します。講座の参加をためらっていた方にお勧めの講座もあります。

ふるって市民講座にご参加ください。



※受講申込者が定員に満たない場合は、開講を中止することがあります。

## 東野コミュニティセンターで開催の講座一覧

講座名	対象	講座内容	回数	時間・初回日
楽しく歩こう！東野散歩	一般 20名	皆さんと一緒に話ししながら、軽やかなウォーキング。	8	10:00～12:00 5/14（金）
みんな大好き、卵料理 ・だし巻き卵・卵豆腐 ・とっただしがらでふりかけ	一般 8名	だし巻き卵をおいしく作る技を伝授します！器用でなくても、簡単にできるんです。	1	9:30～11:30 5/20（木）
恵那の家庭料理 ほおば寿司	一般 8名	恵那の郷土料理、ほおば寿司の作り方を習い、ご家族にも作ってあげませんか	1	9:30～11:30 6/17（木）
恵那の家庭料理 しそ巻き	一般 8名	東濃地方の定番保存食『しそ巻き』を作ってみよう！	1	9:30～12:00 7/29（木）
THE SLOW プレスウオーク&はじめてのパレトン	一般 20名	プレスウオーク&パレトンで脂肪を燃焼させ、健康美を追究しましょう！	8	13:30～15:00 5/20（木）
季節のくだものでフルーツ大福	一般 8名	難しそうなフルーツ大福、プロからコツを習いませんか？	1	9:30～11:30 5/12（水）
木曽の郷土和菓子 ほおば巻き	一般 8名	恵那ではあまり目にしない『ほおば巻き』木曽では馴染みのおやつです。	1	9:30～11:30 6/9（水）
始めてみよう！ ノルディックウォーク	一般 10名	スキー選手がトレーニングとして行っていた「スキーウォーク」が元になった簡単な歩行運動です。	8	9:30～11:30 5/22（土）
レッツ！スポーツ吹き矢	一般 10名	腹式・胸式呼吸で精神力・集中力を高め、健康増進・ストレス解消を図りましょう	5	13:30～15:30 5/11（火）



開講日まで募集を受け付けますので、東野コミュニティセンターまでお問い合わせください。他コミュニティセンターの講座につきましては、回覧しました『恵那市民大学ガイドブック』をご覧ください。

市民講座につきまして、ご意見等がありましたら、東野コミュニティセンターまでお寄せください。

また、皆様が生涯にわたり学び続けられる講座を開設したいと願っています。

『こんな講座があったいいなあ』  
『こんな講座なら講師をします』  
『こんな素敵な講師がいます』等、講座の内容や講師についても、ぜひご意見や情報をお寄せください。



# ふれあい食事サービス・ふれあいキッサ

恵那市社会福祉協議会東野支部（東野振興事務所）

恵那市社会福祉協議会東野支部のふれあい弁当・アヤメ会・ふれあいキッサ虹の3事業の事業の内容を紹介します。

昨年度は、新型コロナ感染予防のため、ふれあい弁当を2回行っただけです。今年度もまだ実施は未定です。実施が決まりましたら、コミセンだより等でお知らせします。

## ふれあい弁当

ふれあい弁当は、高齢者世帯の方の不足しがちな栄養素を補って頂けるように、ボランティア「結いの会」のみなさんが、季節の食材を使ったお弁当を作ってお届けしています。毎回30食程をお作りしています。

ふれあい弁当で日頃とは違ったお食事を味わって頂きたいと思います。

ただし、7・8月のお弁当は食中毒予防のためお休みします。

お申し込みは振興事務所までお問い合わせ下さい。

※ お届け日時 毎月第3金曜日 12時～12時30分

※ 自己負担額 1食200円

※ ボランティアの方が調理し、希望者宅までお届けします。



完成したお弁当



令和2年11月20日

## アヤメ会

アヤメ会は、65歳以上で、ひとり暮らしの方を対象に、東野コミュニティセンターで、ボランティアの方や参加者同士でおしゃべりを楽しみながら料理を作り、食事をしています。

看護師さんの血圧測定と健康相談も行っています。毎回10人程の方が参加されています。ご自宅からの送迎も行っています。いつからでもご参加いただけますので東野振興事務所までお問い合わせ下さい。

※ 開催の日には、ご自宅 ↔ 東野コミュニティセンターの送迎を行いますので、ご利用下さい。

※ 毎月第1金曜日 10時～14時

※ 参加費100円 ※いつからでも参加できます



## ふれあいキッサ虹

※ 第2木曜日・第4金曜日 10時30分～12時30分

※ コーヒーとお菓子でふれあいの場を提供します。誰でも参加できます。

※ 参加費 100円





# コミセン図書コーナー

一般書・児童書だけでなく、雑誌なども置いてあります。貸出も可能ですので、ぜひご利用ください！バックナンバーもあります。

※閲覧可能雑誌

きょうの健康  
現代農業  
オレンジページ  
こどものとも（絵本）

※こんな本もあります

暮らしに息づく人々の祈り

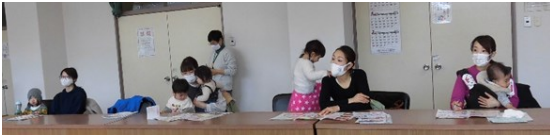
どこでも同じ雑煮と思いがちですが、恵那市内でも餅を焼き、すまし汁をかけた餅と具を一緒に煮て食べたりと多様です。そんな旧恵那市の年中行事が分かる一冊です。



## すくすくクラブ 2月25日（木）

子育ての参考になることがいっぱいでした  
お母さん方も乳幼児をあやしながら真剣に聴きました

- ・志津歯科衛生士さんのお話  
歯磨きの仕方・歯の大切さなど
- ・水野管理栄養士さんのお話  
おやつとの与え方や食事の時間帯など



## 東野地域安全パトロール（4・5月） 金曜日16:00～17:00

4 月	
9日	開発振興会
16日	開発振興会
23日	自治連合会（上組）
30日	自治連合会（下組）
5 月	
7日	東野小学校PTA
14日	恵那東中学校PTA
21日	東野こども園育友会
28日	交通安全協会東野支部

見守り、よろしくお願いします。



令和3年度の東野コミセンの活動目標  
魅力ある東野コミセン

情報発信を通して、東野の  
新しい魅力が発見できる  
東野コミュニティセンター

- ①「アーカイブス ふるさと東野」の積極的な活用
  - ②ロビーを活用した多様な活動の展開
  - ③こども園や小学校との連携したふるさと学習
- この目標を掲げ、1年間活動します。地域の皆様からのご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



コミセン職員一同



## 編集後記

昨年度は、ほたる祭りや川遊び、夏祭りや敬老会、文化祭等、恒例の行事が中止に追い込まれました。また、前期市民講座や夏休みこども講座等の学びの機会も失われました。すべて、新型コロナウイルスという敵のためです。市民講座や文化サークル、こども園や小学生の学びや多くの方々とのふれあう機会も無くなってしまいました。▼静まり返ったコミセンで、過去の公民館だよりや古い写真を整理し、東野の歴史を調べました。コミセンや振興事務所に保管されていた多くの写真や行政文書はどれも貴重な資料です。コミセンだよりの内容を考えると、きにも随分とお世話になりました。コミセンだよりに掲載できなかった資料もたくさん残すことができました。▼今号は少し昔の写真を巻頭に掲載しました。この写真だけでなく、ご家庭で保管していらっしゃる写真も、数十年後には東野の歴史を物語るものになると思います。特に、子ども会や住民運動会、夏祭り等、地域行事の写真は東野の変遷を静かに語ってくれます。▼コミセンだよりでコミセンが保管する写真の紹介を通し、東野の歴史や魅力を知っていただきたと考えると、編集してきました。▼東野には何もないと話す方もいらっしゃいますが、古くからの記録が残っていることは、新興住宅地域にはない東野の強みです。歴史のある東野は、私たちにとって大きな誇りだと思います。東野に関心を持ち、魅力を発信していただける方が更に増えたらと思っています。

（杉）

## 発行

東野コミュニティセンター ☎二六〇二五五五  
東野地域自治区運営協議会 ☎二六〇二三四四